

図書館における書誌分類：DDC と NDC 間の 分類対応表の作成

—総合目録データベースを利用して—

高木 貞 治

抄録：日本の図書館の多くでは NDC 分類を使っているが、洋図書の分類作業は担当者にとって非常に負担の大きい仕事である。欧米で多く使われている DDC 分類と NDC 分類の対応表があればこの業務を迅速、正確にする有効なツールとなりうる。この分類対応表を3つの総合大学から書誌目録データベースの提供を受けて、データを統合・抽出する方法で作製した。

キーワード：図書館、目録、分類、NDC、DDC、総合目録

1. はじめに

DDC と NDC の分類番号変換表は NDC を使用する大学の図書館実務者に永く切望されてきたものである。それぞれの図書館の担当者は実務の中で、省力化・効率化を図るために、自らが用いている冊子体の DDC に細々と NDC を書き込んできたのではないだろうか。これまでいくつかの文献で分類変換表の作成の可能性や作成の方法論が語られることはあっても、実用に耐えるだけの分類変換表が発表されることは今日まで無かった。そこで筆者は、何よりも実際の目録・分類作業に役立つことを目的に分類対応表を作成した。そのため本稿は、図書館分類や変換表作成に関する研究・考察よりも、作成した分類対応表の発表を主眼とした報告としている。各図書館で実務においてこの分類対応表使って頂き、ご意見を頂ければ幸いである。

2. 分類対応表の必要性

大学図書館業務の中で、洋書の目録および分類業務は非常に負担が大きくかつ重要な仕事である。このうち目録の作業は、現在では LC MARC (Library of Congress Machine Readable Catalog=米国議会図書館機械可読目録) 等、外国の図書館で作成された書誌データを参照し、流用することで、かなり合理化され軽減している。

しかし、分類については、LC MARC 等では DDC (Dewey Decimal Classification) の分類が入力されており、日本の大学図書館では、NDC (Nippon Decimal Classification) を使用しているところが多く、担当者が1冊ごとに苦勞して付与しているのが現状である。

分類付与の仕事は、語学力、分類に対する理解、主題の分析能力など幅広い知識と経験が要求される。DDC、NDC の包括的な分類対応表があれば、この業務のための非常に有効なツールとなる。丸山昭二郎氏はその著作の中で自動変換作成の可能性を探っている。1) しかし、この全分野の学問、文化、科学を包有するそれぞれの分類表を対照して作成するという難解な仕事はまだ成し遂げられていない。

3. 分類対応表の作成方法

これまで DDC と NDC の間の分類対応表作成の試みは、数例の報告例があるが、いずれもごく限られた分野での対応表の作成または、上位の概念のみの対応表の試作に止まっている^{2,3)}。これは、DDC と NDC 双方の分類表を逐一、分析して作成するという手法であったため、膨大な分類体系を対照し、全分野を包括する詳細な分類対応表の作成することが困難を極めるためである。

DDC と NDC 分類表を逐一、分析して作成するという手法では、膨大な時間と手間がかか

るだけでなく、実際に図書分類として存在する可能性の低いものの分類項目に労力をさかれたり、逆に詳細な分類対応表が必要であっても、その項目が欠落してしまう可能性が高く非効率的である。そこで、総合目録データベース中に存在する図書の書誌データを利用して作成する方法を考えた。総合目録データベース中の1件ずつの書誌データからDDC分類とNDC分類の両方が記載しているデータを取り出し、これによって分類対応表を作成するのである。このように、これまで作成された1件ごとの書誌データからの抽出作成という手法を採用することで、より正確で網羅的・実用的な対応表を作成することができる。

4. 分類対応表作成のための書誌データ

学術情報センターのNACSIS-CATを調べてみると、LCMARC等を流用して作成された洋図書書誌データにはほとんどDDC分類が付与されている。これに、所蔵する大学図書館がNDC分類をつけ加えたものがDDC分類とNDC分類の両方の記載がある書誌データのほとんどである。実際はこういう書誌データは確率的には少ない。所蔵データにはローカルのNDC分類を登録していても、書誌データにNDC分類を追加登録する図書館は少ないようである。しかし、分類対応表作成の母胎となる書誌データが、飛躍的に増加しつつあり、DDC 20分類とNDC 8分類に関しては、実用に耐えるだけの分類対応表が作成できたと考えている。

当初は、このNACSIS-CATの書誌データを利用するつもりであった。しかし、学術情報センターとしては、目録作成以外の目的で書誌データを提供することはできないということで、これは断念せざるを得なかった。そこで、いくつかの大学に協力を依頼し、それぞれの大学の図書書誌データを譲り受け、それを書誌IDで統合して分類項目を抽出し、分類対応表を作成することとした。今回は、金沢大学・熊本大学・九州大学の協力を得て、書誌データの提供を願い、本分類対応表を作成した。(金沢大学はNACSIS-CAT参加当初から積極的に洋図書書誌データにDDC分類を付与してきて

いるのでデータの提供をお願いした。熊本大学および九州大学は筆者の所属していた機関であったので、データの提供が受けやすかったことによる。)

5. この分類対応表の使用に関して

本稿の後ろにDDC 20版とNDC 8版の対応、ならびにその組み合わせの出現回数からなる分類対応表を付している。実際には、すべてのデータは8301組(データ数13035)存在するのであるが、これをすべて掲載するとこの表のように3段組でプリントしても87ページの膨大な表となる。そのためここでは出現回数が4回以上のものに限定して460組、5ページ分のものだけを掲載している。実際の分類作業においては、ここでの出現回数が1回のもので十分参考になると考えられる。そこで、実データをWWW上で公開しているので(注1)、実務ではこちらをご利用頂くか、もしくは筆者まで分類対応表を請求頂きたい。

この分類対応表を見ていくと、あるDDC分類のものに対して様々なNDC分類が付与されている。出現回数が多いほど確率的にはその分類が該当する可能性が高くなる。しかし、より多く出現したものが該当する図書の分類に必ずしもふさわしいとは限らない。これは丸山氏も指摘している主題スイッチングの限界である。丸山氏はこのことに関して、『適切な主題スイッチングを行なうためには、変換プロセスの途中に、人が介在しなくてはならない』と述べている⁹⁾。私も同じように、分類の完全な自動変換については否定的に考えている。それは、ある図書や論文には1つの分類には納まりきれない主題や概念があり、またそのどの面を第1分類として捉えるかについては、国や分類を行なう立場や人によって様々に異なってくるからである。そのため、図書の分類作業にあたっては、経験をつんだ図書館職員が介在する必要性を強調しておきたい。ここで作成した分類対応表は、分類作業を正確化・迅速化するための、一つのツールとして考えて頂きたい。このため、分類対応表は端末上での自動変換システム等に掲載するよりも、一覽性に優れる紙媒体の方がふさわしいと考えられる。それはこの表を用

表 分類対応表：DDC と NDC

(count はこの組合わせが出現する回数，ここでは4回以上のデータのみを掲載した)

DC 20	NDC 8 count	count	DC 20	NDC 8 count	count	DC 20	NDC 8 count	count
003	548.3	4	155.4/13	376.11	5	300/.1/5195	301.6	6
003/.54	007.1	6	155.67	143.7	5	300/.72	301.6	5
003/.7	007.1	4	160	116	10	300/.72	361.9	5
005.13/3	007.64	5	160	131.4	7	300/.723	361.9	4
006.3	007.1	48	170	150	35	301	361	22
006.3/3	007.1	4	170	151	4	301	389	7
006.3/7	007.1	4	170	154	4	301/.01	361.1	14
006.4	007.1	8	170/.92	134.2	5	301/.01	361.16	9
006.4/54	007.1	6	171/.3	131.4	5	301/.01	361	6
006.6	007.6	5	174/.2	490.15	14	301/.01	389	4
016.94053/1	316.88	6	181/.482	126.6	8	301/.092	361.253	4
8			183/.2	131.2	6	302	361.4	11
066.3/1	007.63	4	184	131.3	15	302.2	361.45	14
070.1/95	699.64	4	186/.4	131.9	6	302.23	361.45	4
100	100	4	191	133.9	22	302.23/0973	361.45	5
100	104	4	192	133.3	14	302.3/5	361.6	5
121	115	13	192	133.2	7	302/.12	361.4	5
121/.6	115	7	192	133.5	6	303.4	361.5	7
121/.68	115	4	192	134.9	5	303.48/2	361.5	4
128/.2	114.2	14	192 s	133.5	5	303.48/4	361.5	4
128/.2	114	5	193	134.9	23	304.2	290.1	9
128/.4	141.7	5	193	134.1	8	304.2	361.7	6
142/.7	134.9	4	193	134.2	6	305.3	367.2	4
150	140	7	193	134.4	5	305.42	367.2	16
152.14	141.21	6	193 s	134.2	4	305.42/01	367.2	8
152.4	141.6	5	194	135.5	10	305.5	361.8	8
153	141.5	29	194	135.2	5	305.8	316.8	9
153	140.8	4	200/.1	161.1	6	305.8	389	5
153	141.1	4	270.1	198.1	4	305.8/001	389	7
153.1/2	141.3	5	294.5/2113	168	5	306	361.5	24
153.3/2	141.5	4	294.5/2114	168	4	306	389	12
153.4	141.5	4	294.5/514	168	4	306	389.033	4
153.7/33	141.4	5	294.5/925	168	4	306.2	311.13	4
155.2	141.9	7	294.5/95	168	5	306.3	331	4
155.4/13	371.45	6	300/.1	301	6	306.3	389	4

図書館における書誌分類：DDCとNDC間の分類対応表の作成

DC 20			NDC 8 count			DC 20			NDC 8 count			DC 20			NDC 8 count		
306.4/4	801.03	17	331/.0973	366.5	5	345.73/05	327.953	4									
306.4/4	801	5	332.1/0973	338.253	4	346.41/02	324.933	5									
306.4/84	760.13	4	332/.042	338.9	8	346.41/066	325.933	4									
306.874	367.3	4	333.7	519.1	9	346.73/066	325.953	6									
306/.01	389	7	333.7	334.7	8	346.7303	324.953	8									
306/.0941	302.33	6	333.95/16	468	5	347.73/6	327.953	6									
306/.0952	302.1	5	333.95/16	519.8	4	362.1/0941	364.023	5									
306/.097	389.033	4	337	333.6	14		3										
307.76	361.78	15	338.1/873	611.1	4	362.1/0973	498.1	4									
307.76	318.7	5	338.4/33621	498.1	5	362.6	369.26	4									
307.76	290.173	4	338.4/791	689	8	363.7	519.1	9									
307.76/09	361.78	4	338.5	331	4	363.7	519	5									
320.5/4	311.3	14	338.6	366.5	5	364	326.3	6									
320.952	312.1	4	338.8/8	335.5	6	370.11/4	371.6	7									
320.956	312.28	5	338.9	333	7	370.11/4/09	371.6	6									
320.956	312.26	4	338.9	333.6	5	73											
320/.01	311.1	5	338.9	331	4	370.19	371.3	14									
320/.01/1	311.1	8	338.9	331.19	4	370.19/0973	371.3	6									
321.8	311.7	8	338.9	335.7	4	370/.1	371.1	13									
327	319	4	338.9	509.1	4	370/.952	372.1	4									
327.1/01	319	9	338.9/152	333.8	4	370/.973	372.53	15									
327.73	319.53	13	338.9439	332.347	4	371.2/00973	374	6									
330.1	331	5	338.947	332.3	9	371.3/34	375.19	4									
330.12/2	332.06	4	338.9497	332.393	5	378.4	377.23	4									
330.15/3	331.42	6	339	331	7	378.73	377.253	7									
330.15/3	331.46	5	339.5	331.19	7	378/.003	377.033	4									
330.15/6	331.74	6	340/.1	321.1	8	379.41	372.33	4									
330.9	332.9	4	340/.115	321.3	6	379.73	372.53	8									
330.973	332.53	4	341	329	4	382	678	7									
330/.01/51	331.19	8	341.4/81	316.1	4	382/.3/0973	678.253	4									
330/.01/519	331.19	27	341.4/81	329.21	4	382/.92	678.3	7									
5			341.7/54	678.1	4	398.2/1/095	388.1	4									
330/.092	331.72	4	341.7/62	519.12	6	2											
331	366.5	8	342.73	323.53	4	401	801.01	5									
331.4/0952	366.38	4	343.73/0721	335.57	11	401/.41	801	8									

DC 20 NDC 8 count			DC 20 NDC 8 count			DC 20 NDC 8 count		
401/.43	801.2	21	510/.1	410.1	6	514/.24	415.7	12
401/.9	801.04	11	510/.7	410.7	6	514/.3	415.7	5
401/.93	801.04	17	510/.71	375.41	4	514/.72	415.5	4
410	801	21	510/.71	410.7	4	514/.74	415.5	15
410	801.09	7	511.3	410.96	9	514/.74	415.7	8
410/.1	801	4	511.3	007.1	5	515	413	22
414	801.1	16	511.3	410.9	4	515/.223	413.5	5
414/.6	801.1	4	511.3/22	410.9	6	515/.2433	413.59	10
415	801.5	132	511/.4	418.1	5	515/.2433	413.5	6
415	801.04	4	511/.5	415.7	4	515/.2433	413.54	5
417/.7	802	5	511/.6	411.22	10	515/.35	413.6	33
417/.7	801.09	4	512	411	5	515/.352	413.6	9
418/.007	807	10	512.9/434	411.3	8	515/.352	413.62	9
418/.02	801.7	7	512/.2	411.6	31	515/.353	413.63	45
423	833	10	512/.2	411.62	6	515/.353	413.6	10
423/.1	833.5	5	512/.2	411.64	5	515/.42	415.3	4
425	835	9	512/.2	411.63	4	515/.42	415.5	4
428.2	835	4	512/.24	411.6	5	515/.55	413.5	6
475	892	4	512/.3	411.73	7	515/.64	413.9	8
491.6	893.1	4	512/.4	411.7	10	515/.7	415.5	10
492	829.7	4	512/.4	411.72	9	515/.72	413	4
492/.77	829.76	4	512/.5	411.3	10	515/.724	415.5	6
495.6	810	4	512/.55	411.6	15	515/.7242	415.5	11
501	401	6	512/.55	411.68	12	515/.7246	415.5	5
508	402	5	512/.55	415.5	8	515/.73	415.5	8
509	402	5	512/.55	411.7	4	515/.782	415.5	4
510	410	10	512/.55	411.76	4	515/.8	413.51	5
510 s	410.8	102	512/.7	412	11	515/.9	413.52	17
510 s	410.8	21	512/.72	412.1	8	515/.94	413.58	7
510 s	415.7	7	512/.73	412.3	6	515/.94	413.52	4
510 s	415.5	6	512/.74	412.2	14	515/.98	413.5	4
510 s	413.63	5	514	415.7	13	516	414	7
510 s	411.6	4	514/.2	415.7	15	516.3/5	411.8	24
510 s	411.8	4	514/.2	410.8	4	516.3/5	414.7	5
510 s	414.7	4	514/.224	415.7	6	516.3/52	411.8	5

図書館における書誌分類：DDCとNDC間の分類対応表の作成

DC 20			NDC 8 count			DC 20			NDC 8 count			DC 20			NDC 8 count		
516.3/52	414.5	4	539.7/2	429.6	5	629.8	548.3	11									
516.3/53	411.8	4	541.2/8	431.19	4	629.8/3	548.3	6									
516.3/6	414.7	26	543 s	433	5	629.8/312	548.3	27									
516.3/62	414.7	14	547	437	4	629.8/9	548.3	4									
516.3/73	414.81	9	547.2	434	4	629.8/92	548.3	10									
516.9	414.8	5	547/.05	437.8	17	649/.1	367.3	4									
519.2	417.1	70	547/.2	437.01	10	657	336.9	8									
519.2	417	10	550	450	4	657/.45	336.97	5									
519.2	418.8	4	551.6	451.8	5	658.3	336.4	10									
519.2/33	417.1	21	551.6/353	451.2	4	658.4/012	336.1	6									
519.2/4	417.1	7	551.9	450.13	4	658.4/03	336.1	5									
519.2/82	417.1	4	574.19/2	464	5	658.4/0353	331.19	4									
519.3	417.2	20	574.19/214	464.8	4	658.4/06	336.3	4									
519.4	418.1	5	574.5	468	16	741.6/74/07	727.6	5									
519.5	417	29	574.5/01	468	4	47471											
519.5/35	417	6	574.5/248	468	4	780/.89 s	762	7									
519.5/36	417	5	574.87/3282	464.27	4	781.66	764.7	4									
519.5/42	417	5	575	467	5	782.42164	767.8	5									
519.5/42	417.6	4	591.1/88	491.37	4	782.42166/0	767.8	9									
519.5/44	417.6	5	611/.018	491.11	4	92											
519.5/5	417.6	8	612.8/2	491.371	6	801/.95	901.4	6									
530.1	421.5	6	612.8/25	491.371	4	801/.95	901	4									
530.1/1	421.2	5	616.07/9	491.8	7	808/.0014	901	6									
530.1/2	421.3	27	620.1/06	423.8	4	809	902	4									
530.1/24	421.3	6	620.1/126	501.32	9	810.9	930.29	6									
530.1/3	421.4	13	620.1/36	511.7	6	810.9/003	930.29	7									
530.1/4	421.3	5	621.36/6	549.95	9	810.9/355	930.29	4									
530.1/43	421.3	32	621.36/7	007.1	8	810.9/89607	930.29	4									
530.1/435	421.3	5	621.36/78	512.7	6	3											
530.1/5	421.5	10	621.381/52	549.8	4	810.9/975	930.29	5									
530.4/1	428.4	5	621.3815/2	549.8	6	811/.3	931	5									
530.4/4	427.6	12	621.382/2	547.1	17	811/.4	931	6									
532	423.8	5	621.402/2	501.26	5	811/.54	931	4									
536/.7	426.5	4	621.8/9	531.8	9	812/.52	932	4									
537.6/23	427.4	8	624.1/7	501.34	6	813/.2	933	4									

DC 20	NDC 8 count	
813/.3	933	25
813/.3	930.28	14
813/.4	930.28	19
813/.4	933	13
813/.52	930.28	56
813/.52	933	30
813/.54	933	48
813/.54	930.28	15
813/.5409	933	5
818/.409	930.28	5
820.9	930.2	4
820.9/003	930.25	6
820.9/008	930.26	4
821/.3	931	5
821/.4	931	10
821/.4	930.28	5
821/.7	931	10
821/.8	930.28	5
821/.8	931	5
821/.912	931	4
822.3/3	932	58
822/.309	932	4
823.912	933	4
823/.8	930.28	9
823/.8	933	7
823/.912	930.28	34
823/.912	933	12
823/.914	933	9
823/.914	930.28	6
873/.01	992	5
883/.01	991.1	4
895.6/35	913.6	4
901	201.1	5
909.82	209.75	5
910	290.1	5

DC 20	NDC 8 count	
910/.01	290.1	4
910/.285	290.1	4
930.1	202.5	11
930.1/01	202.5	4
937	232	6
937/.05/092	131.8	4
944.04	235.06	15
944/.034	235.05	5
947	312.3	5
949.7	239.3	4
949.702/4	239.3	8
956.04	319.28	4
973	253	5

いて図書館職員が分類作業を行う場合、その隣接する分類の対応を考慮することが重要であるからである。

6. この分類対応表の今後の展開について

この方法で分類対応表を作成するにあたっては、その母胎となる書誌データの量と質がもっとも重要な要素となる。分類担当者によってその書誌ごとに付与された分類は時として誤ったものである可能性もあり、また DDC と NDC で異なった側面の主題を第一分類としていることもあることが考えられる。しかし、このことに関しては「質は量より生まれる」の原則がこの問題を解決してくれると考える。DDC：NDC の対応したデータの出現した回数の多いものほど確立的に該当する主題となる可能性も高く、2 つ以上の側面を持つ主題をもつものに関しても、対応表の中に出現している可能性も高い。その場面で担当者の判断によりもっとも適切なものを選択して付与することができる。

今回は、提供して頂いたデータ中、最も分類の組み合わせの蓄積量が多い DDC 20 版と NDC 8 版の分類対応表を作成した。しかし、これでも各大学図書館で登録している洋図書のごく一部にすぎない。洋図書の所蔵データには多くの図書館が高い確率で NDC 分類を付与していることを考えると、各大学図書館でももつ

と積極的に書誌データの分類項目にも NDC 分類を付与して頂きたい。より多くの図書館が書誌データに NDC 分類を付与し、そのデータを分類対応表の作成に生かすことができれば、さらに詳細で正確な分類対応表の全国規模での共同作成への道が開かれる。その分類対応表がまた日々の分類作業のツールとして還元することができるだろう。各図書館・担当者の方のご理解を頂き、次はより詳細な分類対応表、ならびに現行の DDC 21 版と NDC 9 版の分類対応表の作成を目指したい。

注

- (1) <http://www.geocities.co.jp/MotorCity-Pit/1341>
- 1) 丸山昭二郎, 丸山泰通編「DDC, LCC, NDC 図書分類の記号変換」東京 丸善 1984
- 2) 福田博同「DDC-NDC の変換対応表について」『大学図書館研究』No.34 1989 p.80-90
- 3) 市川美智代「DC/NDC 変換テーブルの整備」『文献情報センターニュース』No.11 1986 p.17
- 4) 同 1) 207 p.

<1999.8.6 受理 たかき・ていじ
八代工業高等専門学校図書係>